

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：商工費 項：商工費 目：工鉱業振興費

事業名 (公財) セラミックパーク美濃負担金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 地域産業課 地場産業振興係 電話番号：058-272-1111 (内 3094)

E-mail: c11355@pref.gifu.lg.jp

1	事業費	運営費負担金	20,193 千円 (前年度予算額：20,193 千円)
		自主企画事業負担金	3,624 千円 (前年度予算額：3,624 千円)
		計	23,817 千円 (前年度予算額：23,817 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	23,817	0	0	1,990	1,888	0	0	0	19,939
要求額	23,817	0	0	1,990	1,106	0	0	0	20,721
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

陶磁器 (美濃焼) 産業は東美濃地域に根付いた重要な地場産業であるが、ライフスタイルの変化による国内市場の縮小や海外廉価製品との価格競争激化などにより苦戦を強いられており、県内の製造品出荷額における構成比を比較すると、約 20 年前 (H5：工業統計) には 12.3%であったものが、現在は 6.5% (R2) まで落ち込んでいる。このため、商品開発の強化や新たな販路開拓などが課題となっており、地域の産業拠点施設でもあるセラミックパークMINOの役割も重要性が増している。

(2) 事業内容

美濃焼産業・陶磁器文化の振興を目的に、平成14年にオープンした拠点施設「セラミックパークMINO」の維持管理・運営及び地域・産業の振興事業を推進するため、同施設の指定管理者である (公財) セラミックパーク美濃に対し、維持管理、運営経費及び自主企画事業経費の一部を負担金として拠出する。

■指定管理者の状況

○指定管理者：(公財)セラミックパーク美濃(理事長：古川雅典／多治見市長)

○指定期間：令和3年4月1日～令和8年3月31日

○基本財産：10,000千円

(出捐比率)岐阜県33.0%、多治見市34.0%、土岐市6.27%、瑞浪市3.93%、
多治見市商工会議所16.25%、土岐商工会議所3.0%、
瑞浪商工会議所1.87%、笠原町商工会0.54%

○業務内容：「セラミックパークMINO」の現代陶芸美術館部分を除いた施設の管理運営及び財団事業(自主企画事業、催事誘致、貸館事業等)を行う。

○経緯

H10.4.30：「(仮称)財団法人国際陶磁器テーマパーク設立準備委員会」が発足

H11.3.29：「財団法人セラミックパーク美濃」設立

H11年度～：出捐比率に応じた財団運営費を負担

H14.10.12：セラミックパークMINOオープン

H18.4.1：セラミックパークMINOの指定管理者に(財)セラミックパーク美濃を指定(3年間)

H21.4.1：セラミックパークMINOの指定管理者に(財)セラミックパーク美濃を指定(3年間)

H24.4.1：セラミックパークMINOの指定管理者に(財)セラミックパーク美濃を指定(3年間)

H25.4.1：(財)セラミックパーク美濃が公益財団法人へ移行

H27.4.1：セラミックパークMINOの指定管理者に(公財)セラミックパーク美濃を指定(3年間)

H30.4.1：セラミックパークMINOの指定管理者に(公財)セラミックパーク美濃を指定(3年間)

R3.4.1：セラミックパークMINOの指定管理者に(公財)セラミックパーク美濃を指定(5年間)

(3) 県負担・補助率の考え方

○負担金の充当先

[施設の維持管理、運営関係]

- ・施設運営事業費(光熱水費、業務委託費等)、広報宣伝事業費、管理費(人件費、事務費)等

[自主企画事業関係]

- ・イベント開催費(人件費、委託料、会場使用料等)

○負担割合：岐阜県33.0%、多治見市51.93%、土岐市9.27%、瑞浪市5.80%

■ 運営負担金

負担割合：岐阜県 33.0%、多治見市 51.93%、土岐市 9.27%、瑞浪市 5.80%

岐阜県（行政） 23,817 千円

運営負担金 20,193 千円（うち諸収入 3,096 千円）

自主企画事業負担金 3,624 千円

地元 3 市計（行政） 48,351 千円

運営負担金 40,996 千円

自主企画事業負担金 7,355 千円

■ 美術館負担金（岐阜県） 49,475 千円（環境生活部にて別途計上）

※美術館負担金＝施設維持管理経費（光熱水費、委託費、修繕費、燃料費等）の総額を面積案分

（４）類似事業の有無 無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
負担金	23,817	運営負担金 20,193 千円、自主企画事業負担金 3,624 千円
合計	23,817	

決定額の考え方

4 参考事項

（１）各種計画での位置づけ

「岐阜県成長・雇用戦略 2017」

[3] 海外展開・販路拡大支援プロジェクト

（２）国内におけるビジネスチャンスの提供

（２）後年度の財政負担

セラミックパークの施設運営等に要する必要最低限の経費のため毎年同額程度の経費負担が発生する見込み。

（３）事業主体及びその妥当性

美濃焼産業の中心地である東美濃地域（多治見市、瑞浪市、土岐市）が当該事業をけん引しているが、美濃焼産業の振興は県の重要な施策でもあり、事業主体の一員として支援することは妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

全国的にも珍しい陶磁器産業と文化の融合施設であるセラミックパークMINOを活用し、美濃焼はもとより、美濃焼産地の魅力を国内外へ発信し、岐阜県の産業、文化振興を目指します。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2 年度 実績	R3 年度 目標	R4 年度 目標	終期目標 (R)	達成率
						%
来館者数（単位：人）		83,962	290,000	170,000		%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p><令和2年度実績></p> <p>(1)施設の維持管理</p> <p>設備の保守管理、施設修繕の実施、職員巡視による安全確認の実施、警備の実施、敷地内里山も含む施設の清掃業務の実施、危機管理体制の整備、</p> <p>各種環境衛生管理関係法令の遵守など、24時間365日に渡り施設の安全及び維持管理を適切に実施してきた。</p> <p>(2)施設の運営・催事誘致活動</p> <p>貸出施設への催事誘致営業、来館者アンケートの実施、地元陶磁器業界との交流、現代陶芸美術館やレストランとの連携、作陶館の運営、ショップ及びギャラリーの運営、周辺里山での自然観察会の実施など、魅力と活気に溢れる施設づくりに努めた。</p> <p>[来館者数の推移（現代陶芸美術館含む）]</p> <p>H25年度 276,855人 H26年度 371,154人 H27年度 247,831人</p>
-------	---

	<p>H28年度 223,993人 H29年度 250,259人 H30年度 249,991人 R元年度 184,556人 R2年度 83,962人 ※H26, H29は国際陶磁器フェスティバルの開催年</p> <p>(3)自主企画事業</p> <p>地元産業振興、文化振興、観光振興、地域振興を目的とし、以下の自主企画事業を実施しその達成に努めた。</p> <p>①『美濃焼インキュベーション事業』【産業振興事業】 美濃焼の市場開拓と新商品開発を目的に、国内外のレクサス販売店舗を中心に展開される、レクサスのこだわりアイテムを揃えた「レクサスコレクション」に掲載する作家の提案を行った。 ・新規で4社5アイテムを含む、7社13アイテムが掲載。</p> <p>②『セラミックパークフェス』【文化振興事業】 5月2日(土)～5月4日(月・祝)で『美濃陶芸作家展2020』の開催を予定していたが緊急事態宣言が発令され中止となり、代替事業として開催そこで、その代替え事業として、美濃にゆかりのある若手陶芸作家12名で展示販売会等を実施。 美濃を拠点に活動する陶芸作家の作品の展示販売を行った。 ・開催期間：令和2年10月10日(土)</p> <p>③『セラパーク楽々市』【地域振興事業】 多くの地元商店や住民の出店とともに、多くの来場者があった。 毎月第4日曜及びその前日の土曜日に開催しているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の拡大により、4月～6月、8月、1月、2月は開催を中止。</p> <p>指標① 目標：290,000人 実績：83,962人 達成率：29%</p>
令和3年度	<p>令和5年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%</p>
令和4年度	<p>令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 2	セラミックパークMINOは、平成18年度より指定管理者制度を導入しており、現在、公益財団法人セラミックパーク美濃を令和7年度末まで指定管理者として指定している。施設の維持管理及び自主企画事業を実施するためには、指定管理者へ負担金を拠出する必要がある。
・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	公益財団法人セラミックパーク美濃は、施設の維持管理・運営を目的として平成11年度に設立され、平成14年度の施設会館以降委託業務受託者、指定管理者（平成18年度～）として、施設の維持管理、運営（施設及び附属施設設備の使用許可並びに利用料金の收受を含む）等を適切に行っている。 セラミックパークMINO指定管理者評価員会議においても、業務を適切に行っているとの評価を得ている。
・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 1	施設の維持管理経費は、本県と地元3市が一定割合に応じて負担しており県と地元自治体が密接に連携できている。また、行政負担金も指定管理制度導入以来、経費の見直し等により大幅に圧縮している。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 陶磁器産業は、日本人のライフスタイル・価値観の変化や安価な外国製品の流入、長引く不況による消費力の減退など極めて厳しい状況下にあるため、陶磁器文化・産業振興の拠点であるセラミックパークMINOの魅力を、より一層高めていく必要がある。
--

(次年度の方向性)

・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

セラミックパークMINO（岐阜県現代陶芸美術館含む）は、美濃焼をテーマに産業・文化振興の拠点として重要な役割を果たしている。今後も地元3市と連携し、本県を代表する地場産業であり、かつ地元の基幹産業でもある美濃焼産業を振興するべく、施設を効果的に維持管理していく。

（他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果）

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	